



CERAMIC
GUARD

100%無機系

Micro Sealer®

セラミックガード 製品紹介

超耐久無機系ハイブリッド型コーティング剤



モース硬度

7相当



仕上がり

濡れ色



特徴

硬度・耐久性





製品概要と主要スペック



施工中の様子

石種：御影石(バーナー仕上げ)
施工法：
セラミックガード塗布後拭き取り



石種：大理石(ブラウンパーラー)
施工法：
セラミックガード塗布後拭き取り



i セラミックガードは**モース硬度7（13H相当）**のガラスコーティング剤で、シリカを主成分とした細かな高分子化合物が数珠状に連なった結晶皮膜です。一般的なガラスコーティングに比べて有効成分を高配合にしているため、耐久性が高く、多くの公共施設にもご利用いただいております。



基本仕様

分類
無機素材用 浸透被膜型保護剤

仕上がり
濡れ色、無色透明の光沢

施工可能面積
20～40m²/L
※素材の吸水性により変動します。

標準塗布量
20～45 mL/m²



推奨素材と特徴



大理石、御影石、玄昌石（スレート）



磁器タイル、セラミックタイル、陶器



外部からの水分吸収を防止し、内部の湿気を発散



セラミックガードの保護メカニズム

- 石材表面
- セラミックコーティング層
- 外部水分（侵入）
- 内部湿気（発散）



未施工：水分が浸透

多孔質の石材に水分が浸透し、劣化の原因となります。内部に水分が溜まり、白化や剥離のリスクがあります。



施工済み：セラミック皮膜形成

表面に透明なセラミックガラス皮膜が形成され、外部からの水分をブロックします。



水分の挙動：外部防水+内部放湿

外部の水は弾き、内部の湿気は上方に発散。石材の呼吸を維持します。



セラミックガードの特徴： モース硬度7（13H相当）のガラスコーティング剤で、シリカを主成分とした細かな高分子化合物が数珠状に連なった結晶皮膜です。外部からの水分吸収を防止しながら、石材内部の湿気分を発散させ、天然石材の呼吸を妨げないため素材の白化や剥がれを防止できます。

⚙ セラミックガードの施工手順

準備

1



🛠 下地処理

素材の状態を確認し、表面の汚れや水分を除去。
研磨orクリーニングで適切な下地処理を行います。

研磨

乾燥

確認

施工中

2



🔧 施工中

セラミックガードを薄く塗り広げ、5分程度浸透させます。
しっかりと乾いたクロスで拭き取りを行ってください。
本磨きやバーナー仕上げは全て上記方法で施工を行ってください。
塗りっぱなし施工は基本的にツヤの無いタイルへのみ施工してください。

完了

3



✅ 施工後

環境にもよりますが、1~2時間で乾燥します。高級感のある濡れ色仕上げが完成します。

乾燥

仕上げ

検査

📋 準備・確認



🔧 塗布・浸透



✅ 仕上げ・検査

i

重要なポイント：必ず事前にサンプル施工を行い、仕上がりを確認してください。拭き取り仕上げの場合、完全に拭き取らないとムラが出るので、色々な角度でチェックすることが大切です

★ 6つのおすすめポイント セラミックガードの特長



キズに強い

モース硬度7（鉛筆硬度13H相当）の硬さなので、歩行キズ等が付きにくくなります。



熱に強い

直火260℃、高温912℃、低温-68℃までの温度に対してもほとんど劣化しません。



超耐久

いずれ劣化する樹脂系コーティング剤とは違い、**100%無機系**なのでほとんど劣化しません。



滑りにくい

未施工時よりも**滑りにくくなる**ため、安全性が向上します。



環境対応

VOC・ホルムアルデヒドがゼロなので、人体にも環境にも優しいです。



石の呼吸を妨げない

外部からの水分をシャットアウトする上石材内部の湿気分を発散するので、水分の吸水発散を繰り返す石材に最適。



セラミックガードの成分の90%は、無機である石材やタイルの組成に最もフィットするように設計されたコーティング剤です。100%にしてしまうと自然硬化しませんので、残り10%の有機溶剤(IPA、キレート剤)により自然硬化が可能となります。硬化する際に溶剤は揮発しますので、最終的には主成分のみが硬化して100%無機の状態になります。